

3月

パラソルだより

令和6年3月発行
利用者支援事業

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。木々のつぼみも次第に大きくなり、芽吹き瞬間を今か今かと待っているようです。モノトーンの風景から薄いピンクやグリーンのパステル調の色彩に変化するこの季節、ちょっとわくわくします。

4月になると入園、入学など環境の変化から子どもも不安定になり、赤ちゃん返りを起こすことがあります。このような“甘え”に、みなさんはどう対応されていますか。

「甘えさせる」と「甘やかす」の違い

「甘えさせる」と「甘やかす」、似ているようで実は全く異なる行為です。「甘やかすといけないから」と言って、子どもが抱っこをせがんでも「もうお兄ちゃん（お姉ちゃん）でしょ」と、突き放す親御さんを、時々見かけます。ですが、いつもそういうことをしていたら、子どもの『自己肯定感』は育ちにくくなります。

「甘えさせる」と「甘やかす」の違いってなに！？

○甘えさせる（良い甘え）・・・子どものペースを尊重すること

- ▶ 気持ちの面での欲求に応じてあげる（スキンシップや赤ちゃん返りを受け入れる、話を聞くなど）
- ▶ 子どもがどうしてもできないことを手助けする

子どもが甘えるのは不安を感じたときです。その甘えに応じてもらうことで安心感をもらい「自分は大事にされる価値があるんだ」「助けてって言えば助けてもらえるんだ」と思えるようになります。

安心感を得ると自己肯定感が育ち、自立に向かって成長していきます。

×甘やかす（悪い甘え）・・・大人の都合ですること

- ▶ 物質的、金銭的な要求に応える（おもちゃやお菓子を言われるがままに買い与えるなど）
- ▶ 着替えや食事など、本当は自分でできるのに、時間がかかるからと『親の都合』でやってしまう

精神面での欲求に応えず、好きな物を何でも買っていると、将来、自分の心の寂しさを物で埋めようとしてしまいます。いつも突き放していると、自分に価値を見出すことができず“孤立”してしまいます。

子どもにとって家庭内は「安全基地」です。嫌な事や悲しい事があっても、そのつらさや悲しみを親はわかってくれる、親に守られている、と思うことができ、はじめて子どもは周囲に目を向け、いろいろなことに挑戦することができます。子どもの「甘え」を適切に受け入れることが大切です。

第4回赤ちゃん広場

3月8日（金）

10:30~11:30



今年度最後の赤ちゃん広場は『ヨガ教室』です♪

予約は「でんでんおし」にて行っています！

※詳細は館内に置いているチラシ等をご覧ください。

子育てに関する
お悩みや相談事を
受け付けています。

TEL:0952-75-5120

9:00~17:00

休館日・・・月曜日

